



取扱説明書

15th Anniversary

I N F O B A R xv

目次

注意事項

基本操作

文字入力

電話

電話帳

メール

LINE

インターネット

カメラ

便利な機能

端末設定

付録

INFOBAR xv を便利に使おう！

電話をかける・受ける

着信履歴や発信履歴、電話帳を利用して電話をかけることができます。

▶ P.63、67

メールを送る・受け取る

Eメールや+メッセージ(SMS)を送受信できます。

▶ P.74、79

写真を撮る

最大約800万画素の高性能カメラを搭載。静止画(フォト)や動画(ムービー)を撮影できます。

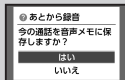
▶ P.86

あとから録音

通話終了時に、直前の通話内容を音声データとしてまるごと保存します。大事な用件をうっかり忘れても後から聞き直すことができます。

※ 事前に設定が必要です。

▶ P.64



PCメール

普段パソコンやスマートフォンなどで利用しているメールアカウントで送受信できます。

▶ P.82

スマホ音声アシスタント呼出機能を利用する

通話をしているようなスタイルで、スマートフォンのGoogleアシスタントやSiriなどの音声アシスタント機能を利用することができます。

▶ P.90

連絡先を電話帳で管理する

電話番号やメールアドレスなどの情報を登録できます。連絡先ごとに着信音を変えたり、1件のアドレス帳に複数の電話番号やメールアドレスを登録したりできます。

▶ P.70



インターネットを見る

簡単にインターネットを楽しめます。ポインターを操作してブラウザを快適に閲覧できます。

▶ P.84



アラームを利用する

設定した時刻にアラーム音やバイブレーションでお知らせします。

▶ P.92



テレビde写真

テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続して、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビの画面に映すことができます。

▶ P.91



スクリーンショット

表示している画面を画像データとして保存することができます。

▶ P.95

マナーモードを利用する

公共の場所で周囲の迷惑とならないよう、マナーモードを利用できます。着信の種類ごとに音量を決めたり、登録した時間に自動的に設定/解除したりなど、お好みに合わせてカスタマイズすることもできます。

▶ P.96

他にも便利な機能がいっぱい

- 卓上ホルダでの充電 ▶ P.42
- 置き時計 ▶ P.44
- カスタムメニュー ▶ P.56
- スピードダイヤル ▶ P.66
- フェイク着信 ▶ P.35
- 伝言メモ ▶ P.68
- 着信拒否 ▶ P.67
- ペア機能 ▶ P.73
- FMラジオ ▶ P.91
- バッテリーケアモード ▶ P.95
- バーコードリーダー ▶ P.53
- データフォルダ ▶ P.52
- My au ▶ P.54
- あんしんフィルター for au ▶ P.54
- メモ帳 ▶ P.53
- カレンダー ▶ P.53
- 音声レコーダー ▶ P.53
- 安心ナビ ▶ P.54
- 位置検索サポート ▶ P.103
- テザリング ▶ P.96

※本書では、主な機能の主な操作のみ説明しています。より詳しい説明については、「取扱説明書 詳細版」をご参照ください。
「取扱説明書 詳細版」はauホームページからダウンロードできます。

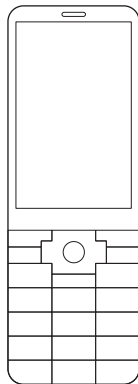
ごあいさつ

このたびは、「INFOBAR xv」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

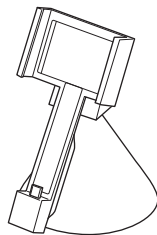
ご使用前に『取扱説明書(本書)』『設定ガイド』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

同梱品一覧

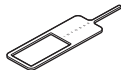
ご使用いただく前に、下記と同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体



卓上ホルダ
(KYX31PUA)



SIM取り出しピン (試供品)

- 取扱説明書(本書)
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモ리카ード
- ACアダプタ
- イヤホン
- 3.5φ-microUSB変換アダプタ01 (0301QNA)
- microUSBケーブル
- microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01 (0301QVA)



memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■「設定ガイド」「取扱説明書」(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■「取扱説明書 詳細版」

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「取扱説明書 詳細版」は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" and "Setting Guide" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

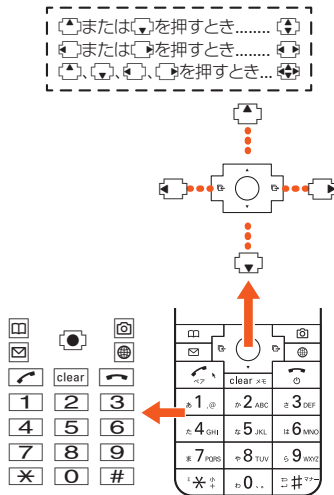
『取扱説明書(英語版)』『設定ガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <https://www.au.com/english/support/manual/>




本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



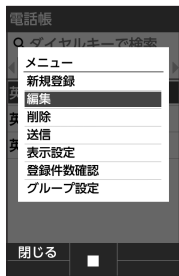
■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、やでメニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどを選択して、 (OK／選択／設定／決定／確定)を押すまでの操作を、[名称]と省略して表記しています。

例：電話帳の連絡先を編集する場合

1 待受画面で→ (メニュー)→[編集]

「編集」をで選択して、で決定する操作を表しています。



memo

- ◎ キー操作について詳しくは、「基本的なキー操作を覚えよう」(▶P.57)をご参照ください。













■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

- ◎ 本書では、キーや画面、アイコンはお買い上げ時の表示を例に説明していますが、実際のキーや画面、アイコンとは字体や形状が異なっていたり、一部を省略していたりする場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 画面最下行に表示された内容を////を押して実行する場合、 (メニュー)のように括弧内に内容を表記します。
※ただし、 (OK) /  (選択) /  (設定) /  (決定) /  (確定) の場合は省略してのみ表記しています。

- ◎ 本書では、メインメニュー(▶P.50)の各メニューについて、カーソルが当たっているときに表示される日本語名で表記しています。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では「au Nano IC Card 04 LE」の名称を「au ICカード」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード(市販品)」「microSDHC™メモリカード(市販品)」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ.....	2
同梱品一覧.....	2
取扱説明書について.....	3
本書の表記方法について.....	4
目次.....	7
注意事項.....	10
注意事項.....	10
本製品のご利用について.....	10
安全上のご注意(必ずお守りください).....	12
材質一覧.....	22
取り扱い上のご注意.....	23
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	28
2.4GHz帯ご使用上の注意.....	28
各種暗証番号/PINコードについて.....	30
各種暗証番号について.....	30
PINコードについて.....	30
データ通信料についての注意.....	31
アプリケーションについて.....	31
マナーも携帯する.....	32
基本操作.....	34
基本操作.....	34
各部の名称と機能.....	34

カスタマイズキーを利用する.....	37
充電ランプ/通知ランプについて.....	37
au ICカードについて.....	38
au ICカードを取り付ける/取り外す.....	38
au ICカードを取り付ける.....	38
au ICカードを取り外す.....	40
充電する.....	41
ACアダプタを使って充電する.....	41
卓上ホルダと指定のACアダプタを使って充電する.....	42
電源を入れる/切る.....	44
電源を入れる.....	44
電源を切る.....	44
強制的に電源を切り再起動する.....	44
microSDメモリカードを取り付ける/取り外す.....	45
microSDメモリカードを取り付ける.....	45
microSDメモリカードを取り外す.....	46
待受画面を利用する.....	47
ウィジェットや通知表示を利用する.....	47
待受画面のウィジェットを編集する.....	48
本製品の状態を知る.....	48
アイコンの見かた.....	48
通知/設定パネルについて.....	49
メインメニューを利用する.....	50
アプリ・サービスを利用する.....	55
アプリを取得する.....	55
メインメニューを変更する.....	55
LINEをアップデートする.....	56
カスタムメニューを利用する.....	56
カスタムメニューにアプリを登録する.....	56
カスタムメニューを利用してアプリを呼び出す.....	56
アプリを並べ替える.....	56

アプリを削除する	56
共通の操作を覚える	57
基本的なキー操作を覚えよう	57
チェックボックスを利用する	58
ポインターを利用する	58
ポインターの操作について	58
キーの操作を無効にする(キーロック)	59

文字入力 60

文字入力	60
文字入力の方法を覚える	60

電話 63

電話	63
電話をかける	63
電話番号を入力して電話をかける	63
履歴を利用して電話をかける	65
スピードダイヤルを利用する	66
au電話から海外へかける (au国際電話サービス)	66
電話を受ける	67
電話に出る	67
着信を拒否する	67
ステップアップ着信を設定する	68
不在通知のスヌーズを設定する	68
伝言メモを設定する	68
伝言メモを再生する	69
自分の電話番号を確認する	69
プロフィールを確認する	69
プロフィールを編集する	69

電話帳 70

電話帳	70
電話帳に登録する	70
電話帳の一覧を利用する	71
電話帳一覧画面を表示する	71
電話帳の登録内容を利用する	72
よく通話する相手をペア機能に登録する	73
ペア機能を利用する	73

メール 74

Eメール	74
Eメールを確認する	74
Eメールを送信する	77
宛先を追加・削除する	78
Eメールを受信する	78
新着メールを問い合わせで受信する	79
+メッセージ(SMS)	79
+メッセージのご利用にあたって	79
+メッセージのモードについて	79
+メッセージのご利用方法を確認する	80
連絡先に登録する	80
QRコードによる連絡先登録	80
新しい連絡先を登録	80
メッセージを送信する	81
PCメール	82
PCメールのアカウントを設定する	82
メールを送信する	82
メールを受信する	82
PCメールを返信/転送する	82

LINE 83

LINE 83

インターネット 84

インターネット接続 84

 インターネットに接続する 84

 データ通信を利用する 84

ブラウザ 85

 Webページを表示する 85

 ポインターで操作する 85

カメラ 86

カメラ 86

 撮影画面の見かた 87

 フォトを撮影／ムービーを録画する 88

便利な機能 90

スマホ音声アシスタント呼出機能 90

テレビde写真 91

FMラジオ 91

アラーム 92

 アラーム一覧画面のメニューを利用する 93

簡易ライト 94

漢字チェック 94

スクリーンショット 95

バッテリーケアモード 95

端末設定 96

端末設定 96

 設定メニューを表示する 96

 マナーモードを設定する 96

無線LAN(Wi-Fi[®])機能 97

 無線LAN(Wi-Fi[®])機能について 97

 無線LAN(Wi-Fi[®])機能を利用する 98

 無線LAN(Wi-Fi[®])機能をONにする 98

 Wi-Fi[®]ネットワークに接続する 98

 アクセスポイントとの接続を切る 99

付録 100

付録 100

 ソフトウェアを更新する 100

 ソフトウェアをダウンロードして更新する 100

 故障とお考えになる前に 101

 位置検索サポート 103

 アフターサービス 104

 SIMロック解除 106

 周辺機器 107

 イヤホンを使用する 108

 電話を受ける 110

 主な仕様 110

 携帯電話機の比吸収率(SAR)について 112

 FCC Notice 113

 輸出管理規制 114

 知的財産権について 115

 商標について 115

 License 118

注意事項

本製品のご利用について

- ・本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ・故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。
または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
<https://www.au.com/trouble-check/>
- ・サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください（ただし、LTE/UMTS/GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- ・日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用した接続はできません。
- ・本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。

- ・本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- ・「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- ・海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- ・地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本書の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。

- 通常のごみと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- 本製品のアプリや機能を使用する際、利用規約などの確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。
- アプリや機能を起動する際、通信料についての確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

※本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元: 京セラ株式会社






memo

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。







安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明していません。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。




- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。


■ 禁止・強制の絵表示の説明


	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、充電用機器、au ICカード、周辺機器 共通


⚠ 危険


-  高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
-  砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意ください
例

- スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

 分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

 本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



オプション品は、auが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりにしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

- !** 使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
 - 本製品の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

- ⊘** 破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ⊘** ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。
- ⊘** 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
- ⊘** 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。
- ⊘** 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

- !** 本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
- アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠ 危険

- ⊘** 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- ⊘** 鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

- !** 本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

! 警告

- ⊘** ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
- ⊘** 自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。
- ⊘** 点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

- ⊘** 本製品内のau ICカード／microSDメモリカードの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。また、au ICカードやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

- ⊘** カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

- !** 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

! 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

! ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

! 心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

! 医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

! 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

! ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

! 内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするとき
は、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてくだ
さい。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因
となります。

! ペットなどが本製品に噛みつかないように注
意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、
やけど、けがなどの原因となります。

! 注意

⊘ ストラップなどを持って本製品を振り回さな
いください。
けがなどの事故の原因となります。

⊘ ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場
合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけない
てください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となりま
す。内部の物質が目や口などに入った場合や、
皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな
水で洗い流してください。また、目や口など
に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受
けてください。

⊘ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。ま
た、環境破壊の原因となります。不要となった
本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただ
くか、回収を行っている市区町村の指示に従っ
てください。

⊘ 内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手な
どの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となりま
す。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚
や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で
洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ち
に医師の診療を受けてください。

⊘ au ICカードやmicroSDメモ리카ードの取り
外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよ
う、SIM取り出しピン(試供品)の先端にご注
意ください。
SIM取り出しピン(試供品)の先端に触れると、
けがなどの原因となります。

! 自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

! 本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。各箇所の材質について▶P.22「材質一覧」

! 本製品のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。

! ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について



警告

- ⊘** 指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
- ⊘** 雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。感電などの原因となります。
- ⊘** コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
- ⊘** 指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。
- ⊘** コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて

注意



au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

■ SIM取り出しピン(試供品)について


注意





子供の手の届く場所に置かないでください。誤飲、けがなどの原因となります。


■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告

 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

 自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

 身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

 医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■INFOBAR xv本体

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
ディスプレイ部	PMMA樹脂	UV硬化コート
撮影ライト／簡易ライト窓部	PMMA樹脂	—
カメラ(レンズ部)	PMMA樹脂	—
キー(すべて)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
カード挿入口カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
au IC カード／microSDメモリカードトレイ	POM樹脂	—

■卓上ホルダ(KYX31PUA)

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース、USBプラグカバー	PC樹脂	—
USBプラグ	SUS/LCP樹脂	—
ゴム脚	ウレタンフォーム	—

■SIM取り出しピン(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
SIM取り出しピン(試供品)	ステンレス	—

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお取り扱いいただきたい事項です。

よくお読みになって、正しくご使用ください。


■本体、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品には防水機能を搭載しておりません。水滴のかかる場所でのご利用は故障の原因になり、保証の対象外となります。

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れて、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク㊿」が本製品本体内で確認できるようになっております。
待受画面で**→[設定]→[その他の設定]→[認証情報]**
本製品本体の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカード/microSDメモ리카ードの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口/スピーカー部、送話口(マイク)などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入したりすると故障の原因となります。

- 通話中、送話口(マイク)を指などで覆わないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。

■内蔵電池について



Li-ion00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですので使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)やmicroUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■au ICカードについて

- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。

- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときには、事前に試し撮りをして、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。


■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

■FCC認証情報

- 本製品は、Federal Communications Commission(FCC)の認証を受けています。本製品のFCC IDはJOYJA28です。また、以下の方法でも確認できます。

確認方法:

待受画面で→[設定]→[その他の設定]→[認証情報]

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®) 機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認証を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

- 本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能: 2.4FH1/XX1



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS4/OF4



本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

- 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■オートロック

使用例	オートロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

■機能ロックNo.

使用例	「電話帳ロック」／「Eメールロック」／「+メッセージロック」／「オールリセット」などを利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上ご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードはデータの初期化を行ってもリセットされません。

＜この部分をコピーしてご使用ください＞

【パスワード記載欄】	
au ID <input type="text"/>	オートロック:ロックNo. <input type="text"/>
au ID/パスワード <input type="text"/>	オートロック:パスワード <input type="text"/>

※アカウント(ID)やパスワードは、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどの取得、アプリによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※無線LAN(Wi-Fi®)接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリの取得についてはau IDを設定の上、auスマートパスより行ってください。au IDの設定については『設定ガイド』をご参照ください。本製品ではGoogle Play™やEZwebのご利用はできません。
- アプリの取得は安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

- 万一、お客様が取得したアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が取得したアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中にディスプレイが自動消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリや取得したアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。

- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。

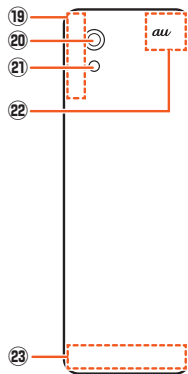
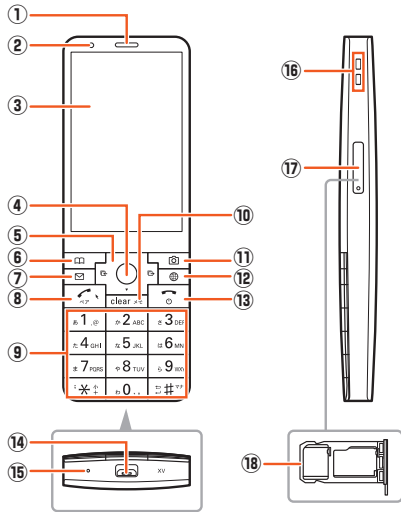
機内モードの設定方法：

待受画面で  → [設定] → [無線・ネットワーク] → [機内モード] にチェックを入れる

- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

基本操作

各部の名称と機能



①受話口／スピーカー

通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音、着信音、アラーム音などが聞こえます。

②充電ランプ／通知ランプ

充電中は赤色で点灯します。

着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

位置検索サポート(▶P.103)が位置情報を測位中は黄色で点滅します。

詳しくは「充電ランプ／通知ランプについて」(▶P.37)をご参照ください。

③ディスプレイ

④センターキー

選択したメニューや項目などを決定します。

待受画面で押すとメインメニューが表示されます。待受画面で1秒以上長押しすると、キー操作を無効(キーロック)にできます(▶P.59)。

⑤カーソルキー

カーソルなどを上下左右に移動したり、機能を起動したりできます。

左キー／着信履歴

右キー／発信履歴

上キー

待受画面で1秒以上長押しすると、通知／設定パネルが表示されます(▶P.49)。

下キー

待受画面で1秒以上長押しすると、最近使用したアプリの一覧が表示されます。


⑥電話帳キー

待受画面で押すと電話帳を起動します。待受画面で1秒以上長押しすると電話帳編集画面が表示されます。

⑦メールキー

待受画面で押すとEメールを起動します。待受画面で1秒以上長押しすると+メッセージ(SMS)を起動します。

⑧発信／ペアキー

待受画面で電話番号を入力せずにを押すと、ペア登録確認画面が表示され、ペア相手を登録するとペア機能を利用できます(▶P.73)。

待受画面で1秒以上長押しするとフェイク着信機能を利用できます。また、ポインターに対応した機能やアプリの起動中に1秒以上長押しすると、ポインターのON/OFF切り替えができます(▶P.58)。

⑨ **[0]～[9]、[*]、[#]** **ダイヤルキー**

電話番号や文字を入力します。
待受画面で**[#]**を1秒以上長押しすると、マナーモードを設定／解除できます。
また**[1]／[2]／[3]**を1秒以上長押しすると、カスタマイズキー(▶P.37)で割り当てたアプリを起動します。

⑩ **[clear]** **クリア／メモキー**

操作中は1つ前の画面に戻ります。
待受画面で押すと伝言メモリスト画面が表示されます。待受画面で1秒以上長押しすると伝言メモ応答を設定／解除します。

⑪ **[カメラ]** **カメラキー**

待受画面で押すとカメラを起動します。待受画面で1秒以上長押しすると、データフォルダのフォルダ一覧画面が表示されます。

⑫ **[ブラウザ]** **ブラウザキー**

待受画面で押すとブラウザメニューを表示します。待受画面で1秒以上長押しするとアプリ・サービス画面が表示されます(▶P.55)。

⑬ **[電源]** **電源／終話キー**

操作中は通話や各機能を終了します。長押しすると電源を入れる、または電源を切ることができます。

⑭ **外部接続端子**

卓上ホルダ(KYX31PUA)や共通ACアダプタ05(別売)、microUSBケーブル01(別売)などの接続時に使用します。

⑮ **送話口(マイク)**

通話中の相手の方はこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。使用中はマイクを指などで覆わないようにご注意ください。

⑯ **ストラップ取付部****⑰** **カード挿入口カバー****⑱** **au ICカード／microSDメモ리카ードトレイ****⑲** **内蔵サブアンテナ部*****⑳** **カメラ(レンズ部)****㉑** **撮影ライト／簡易ライト**

撮影ライト／簡易ライト使用時に明るく点灯します。

㉒ **内蔵GPS／Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ部*****㉓** **内蔵メインアンテナ部***

* アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

**memo**

◎ 外装ケースは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.44)をご参照ください。

カスタマイズキーを利用する

1 2 3 を長押ししたときの動作について、お買い上げ時には以下のアプリが割り当てられています。

- 1 を長押し: LINE
- 2 を長押し: スマホ音声アシスタント呼出機能
- 3 を長押し: 簡易ライト
- を長押し: フェイク着信



memo

- ◎ カスタマイズキーの設定を変更するには、待受画面で [●] → [設定] → [その他の設定] → [カスタマイズキー] → 1 2 3 を選択してアプリを変更するか、または「フェイク着信」の ON/OFF を切り替えます。

充電ランプ／通知ランプについて

充電ランプ／通知ランプの点灯／点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中であることを示します。
青の点滅	着信時※、不在着信、通知メッセージがあることを示します。
白の点滅	新着＋メッセージ(SMS)があることを示します。
赤の点滅	電池容量不足による電源投入不可や、充電異常を示します。

※お買い上げ時の設定です。設定メニューの「サウンド・通知」(▶P.96)でLEDの設定を変更できます。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

本製品はau Nano IC Card O4 LEに対応しております。

au Nano IC Card O4 LE



memo

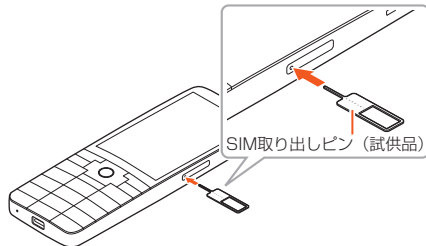
- ◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

au ICカードを取り付ける／取り外す

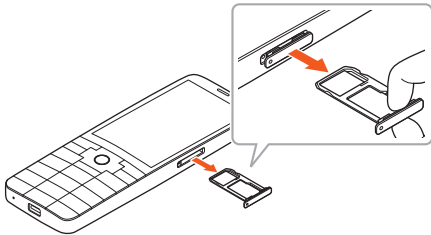
au ICカードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

au ICカードを取り付ける

- 1 SIM取り出しピン(試供品)の先端をau ICカード／microSDメモ리카ードトレイの穴に差し込み、矢印の方向にゆっくりと押し込む
トレイが押し出されます。

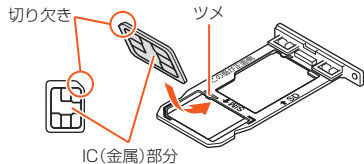


- 2** トレイを指でつまんでまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す

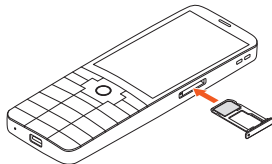


- 3** au ICカードのIC(金属)部分を下にしてトレイにはめ込む

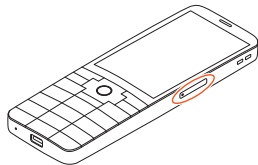
- ・切り欠きの位置にご注意ください。
- ・トレイのツメの破損を防ぐため、au ICカードを矢印の方向にすべり込ませるように取り付けてください。
- ・au ICカードがトレイから浮かないようにはめ込んでください。



- 4** トレイを本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む

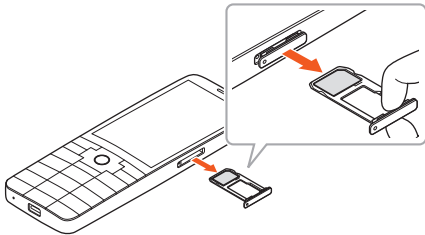


- 5** トレイをしっかりと押し、本体と段差がないことを確認

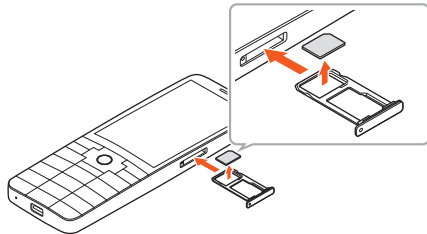


au ICカードを取り外す

- 1 SIM取り出しピン(試供品)の先端をau ICカード/microSDメモ리카ードトレイの穴に差し込み、ゆっくりと押し込む(▶P.38)
- 2 トレイを指でつまんでまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す



- 3 au ICカードを取り出し、トレイを本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む



- 4 トレイをしっかりと押し、本体と段差がないことを確認(▶P.39)

充電する

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

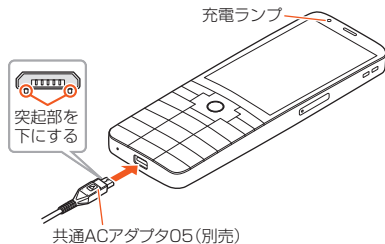
memo

- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- ◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります、電池の寿命が悪くなります。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 充電中に「100%」が表示された後でも、すぐに充電ランプが消灯しないことがあります。間もなくランプも消灯し充電完了となります。
- ◎ 外部接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。


ACアダプタを使って充電する

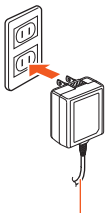
共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.107)をご参照ください。

1 共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む



2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「」が表示されます。充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



共通ACアダプタ05(別売)

3 充電が完了したら、外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

4 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

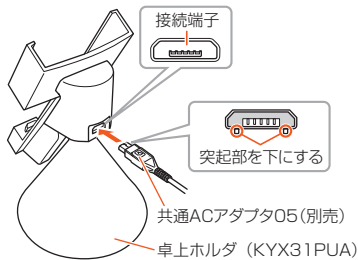
- ◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

卓上ホルダと指定のACアダプタを使って充電する

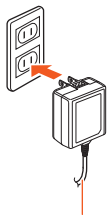
付属の卓上ホルダ(KYX31PUA)と共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.107)をご参照ください。

1 卓上ホルダ(KYX31PUA)の接続端子に共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグを差し込む

microUSBプラグの向きを確認して、矢印の方向に差し込んでください。



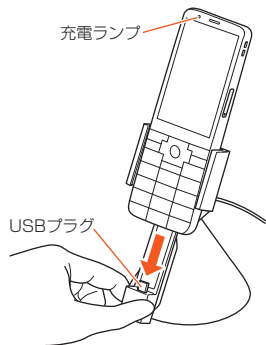
2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む



共通ACアダプタ05(別売)

3 本製品を卓上ホルダ(KYX31PUA)に取り付ける

卓上ホルダのプラグ部を持ち、USBプラグに本製品の外部接続端子を奥までしっかりとまっすぐに差し込むように取り付けてください。
本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。



4 充電が完了したら、本製品を卓上ホルダ(KYX31PUA)から取り外す

卓上ホルダのプラグ部を持ち、本製品を上方向にまっすぐに引き抜いてください。

5 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く



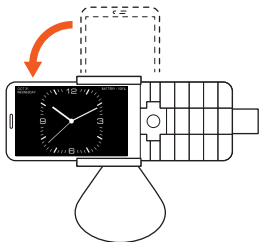
memo

◎ 卓上ホルダへの取り付け/取り外しの際は、本製品のキーが卓上ホルダに引っかかったり、USBプラグが本体ケースに強く当たったりしないようご注意ください。本製品または卓上ホルダが破損するおそれがあります。

■ 置き時計として利用する

卓上ホルダで充電しているときは、本製品を置き時計のように利用することができます。

- 置き時計を利用するには、待受画面で ☑ →[設定]→[壁紙・ディスプレイ]→[置き時計]と操作し、「置き時計を表示」設定をONにしてください。
- 置き時計を横向きにするには、卓上ホルダの本体取り付け部を左に90°回転させます。
- 本製品を操作しない状態で24時間経過した場合は、ディスプレイの焼き付き防止のため、ディスプレイが消灯します。



電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ☑ を2秒以上長く押す

- 初めて電源を入れたときは初期設定画面が表示されません。画面の指示に従って操作してください。



◎ 電源がONになったとき、au ICカードを読み込むため、待受画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。この間、キーが効かなくなることがありますが故障ではありません。

電源を切る

1 ☑ を1秒以上長く押す

2 [はい]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 ☑ と ✖ を同時に10秒以上長く押す



memo

◎強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないください。

microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す

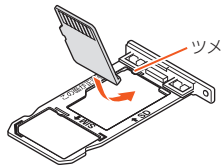
・microSDメモ리카ードの取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

microSDメモ리카ードを取り付ける

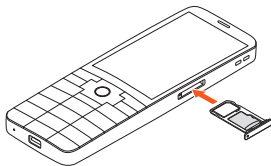
- 1 SIM取り出しピン(試供品)の先端をau ICカード／microSDメモ리카ードトレイの穴に差し込み、ゆっくりと押し込む(▶P.38)
トレイが押し出されます。
- 2 トレイを指でつまんでまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す(▶P.39)

3 microSDメモ리카ードの端子(金属)面を下にしてトレイにはめ込む

- ・microSDメモ리카ードがトレイから浮かないように、はめ込んでください。
- ・トレイのツメの破損を防ぐため、microSDメモ리카ードを矢印の方向にすべり込ませるように取り付けてください。



4 トレイを本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む



5 トレイをしっかりと押し、本体と段差がないことを確認(▶P.39)

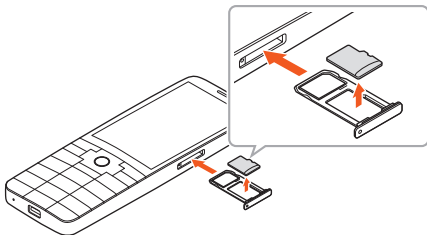


memo

- ◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとする则取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。

microSDメモリカードを取り外す

- 1** SIM取り出しピン(試供品)の先端をau ICカード／microSDメモリカードトレイの穴に差し込み、ゆっくりと押し込む(▶P.38)トレイが押し出されます。
- 2** トレイを指でつまんでまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す(▶P.39)
- 3** microSDメモリカードを取り出し、トレイを本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む



- 4** トレイをしっかりと押し、本体と段差がないことを確認(▶P.39)



memo

- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

待受画面を利用する

待受画面では、本製品の状態を確認できます。

■ 待受画面の見かた



- ①ステータスバー
通知アイコンやステータスアイコンが表示されます(▶P.48)。
- ②ウィジェットエリア
ウィジェットやアプリを利用できます。
・「ウィジェット」とは、時計やカレンダーなど、待受画面で情報を簡単に確認できる表示のことです。

③通知表示

不在着信や新着のEメール/+メッセージ(SMS)などのお知らせ通知が表示されます。

☐/clearを押すと非表示になります。

- ・通知を選択→☐と操作したり、各アプリを起動して内容を確認したりすると通知表示は消えます。

■ ウィジェットや通知表示を利用する

待受画面に表示されたウィジェットや通知表示を利用できます。

■ ウィジェットを利用する

1 待受画面で☐→ウィジェットを選択→☐

- ・ウィジェットの選択画面では☐でウィジェットを選択することもできます。

■ 通知表示を選択する


1 項目を選択→☐

待受画面のウィジェットを編集する

待受画面に表示されているウィジェットを編集します。

1 待受画面で → (編集)

2 編集するウィジェットまたは空きスペースを選択 →












3 追加	選択した空きスペースにウィジェットを追加します。「ウィジェット」「アプリ」から追加したいウィジェットを選択します。
並べ替え	選択したウィジェットを並べ替えます。移動したい位置にウィジェットを移動 →  で並べ替えできます。
削除	選択したウィジェットを削除します。画面上から削除されるだけで、本体内から削除はされませんので、再度追加をすることができます。
時計色変更	選択した時計ウィジェットの表示色を変更できます。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
 / 	新着Eメール／メールサーバーにEメールあり
	新着＋メッセージあり／新着SMSあり
	FMラジオをバックグラウンドで再生中
	通話中、着信中
	VoLTE対応電話機との高音質通話中
	伝言メモあり
	本体の空き容量低下
	ソフトウェア更新情報あり
	まとめられたアイコンあり ・ステータスバーにすべてのアイコンを表示しきれない場合に表示されます。

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池レベル状態 : 100% : 残量なし : 充電中 : バッテリーケアモードを「ON」に設定中
	機内モード設定中
	電波の強さ(受信電界) : レベル4 : 圏外 : 通信中 ・ネットワークを示すアイコンが表示されます。 : 4G(LTE)使用可能 : 海外で GSM/UMTSネットワーク通信中
	au ICカード未挿入
	マナーモード状態 : マナーモード : ドライブモード : サイレントモード : オリジナルモード
	ハンズフリーで通話中
	着信音の音量を「0」に設定中
	通話中のマイクを「OFF」に設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ : レベル表示 : 通信中
	Bluetooth®利用中 : 待機中 : 接続中
	伝言メモ設定中 : 伝言メモ設定中 : 伝言メモ全件録音済み

■ 通知／設定パネルについて

通知パネルでは、通知内容の確認や対応するアプリの起動ができます。

設定パネルではWi-Fi®やBluetooth®などの機能のON/OFFをすぐに設定できます。

1 を1秒以上長く押す

通知／設定パネルが表示されます。

- ・待受画面で → ステータスバーを選択 → と操作しても、通知／設定パネルを表示できます。

■ 通知／設定パネルの見かた

/ を押すと、通知パネルと設定パネルが切り替わります。



① 通知エリア

本製品の状態や通知内容を確認できます。

② 設定メニュー

よく使う機能のON/OFFを設定できます。

■ 通知パネルを利用する

1 通知パネルで操作したい通知を選択→

通知に対応したアプリを起動することができます。

■ 通知を削除する

1 通知パネルで削除したい通知を選択→ (メニュー)→[1件削除]→[はい]→[OK]

「全件削除」を選択すると、通知を全件削除することができます。ただし、電池残量表示など、削除できない通知もあります。


■ 設定パネルを利用する

例: Wi-Fi[®]機能のON/OFFを切り替える場合

1 設定パネルで[Wi-Fi]

操作するたびにWi-Fi[®]機能のON/OFFが切り替わります。



- ◎ 通知/設定パネル表示中に/clearを押すと、通知/設定パネルの表示を終了できます。

メインメニューを利用する

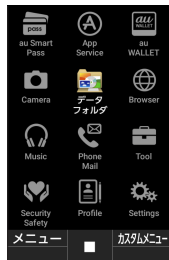
1 待受画面で

メインメニューが表示されます。

2 メニューを選択→

メニューはダイヤルキー([0]~[9]、[*]、[#])に対応しており、各キーを押してメニューを選択することもできます。

■ メインメニューの見かた



《メインメニュー》

■ メインメニュー一覽

メニュー	概要
auスマートパス	最新ニュースや乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」を最大限活用するためのポータルアプリです。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、携帯電話を安心・快適にご利用いただけます。auスマートパスのアプリ取り放題に対応したアプリを取得できます。

メニュー	概要
アプリ・サービス※	
音楽プレイヤー	端末内の楽曲の再生や、Music Storeの楽曲の試聴、購入した楽曲のダウンロードができるアプリです。
Music Store	たくさんの最新曲や人気曲、アルバム、ビデオクリップが揃い、試聴を楽しめ、かんたんに購入できるアプリです。
au WALLETT Market	au WALLETT Marketは、日常生活をより豊かにする「こだわりのもの」をお店でもネットでも気軽にご購入いただける、「お買い物上手」なショッピングサービスです。
Wowma!	日用品・グルメ・ファッションから家電まで豊富な品ぞろえからお買い物が楽しめるKDDI公式の総合通販サイトです。
au助手席ナビ	最新のVICS渋滞情報や交通状況を考慮して、目的地までの最適ルートを案内するカーナビゲーションアプリです。
auナビウォーク	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。

メニュー	概要
アプリ・サービス※	
モバオク	オークションサイト「モバオク」に接続します。
テレビde写真	テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続して、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビに映すことができます。
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。
auシェアリンク	携帯電話とタブレットを便利に使えるようにするアプリです。携帯電話への電話着信やEメールなどの通知をタブレットに表示するといった使い方が可能です。
天気アプリ	現在地や設定したエリアの天気情報を確認できます。

メニュー	概要
au WALLETT	au WALLETTカードへのチャージの他、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、携帯電話に最適化した画面でご利用いただけます。
カメラ	フォト／ムービーを撮影できます。(▶P.86)
データフォルダ	撮影したフォト／ムービー、ダウンロードしたファイルなどを確認できます。
ブラウザ	パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。ブラウザは、ポインター対応アプリです。
音楽	
音楽	音楽を再生できます。
FMラジオ	FMラジオを利用できます。(▶P.91)

メニュー	概要
電話・メール	
Eメール	メールアドレス(@au.com/@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。(▶P.74)
+メッセージ(SMS)	電話番号を宛先として+メッセージ(SMS)の送受信ができます。(▶P.79)
LINE	LINEはいつでも、どこでも、好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。(▶P.83) LINEは、ポインター対応アプリです。
PCメール	普段パソコンやスマートフォンなどで利用しているメール(POP3/IMAP)を、本製品でも同じように送受信することができます。
通話履歴	着信や発信の履歴画面や、発信頻度を閲覧できます。
電話帳	電話帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用したりできます。(▶P.70)
伝言メモ	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音できます。

メニュー	概要
電話・メール	
通話音声メモ	通話中の相手の方と自分の声を録音できます。
通話設定	通話に関する設定をします。
スピードダイヤル	スピードダイヤルの一覧を表示します。(▶P.66)
ツール	
時計/カレンダー	時計やカレンダー、アラーム、タイマーなどの機能を利用できます。
メモ帳	メモ帳を利用できます。
電卓	電卓を利用できます。
漢字チェック	漢字チェックを利用できます。(▶P.94)
簡易ライト	簡易ライトを利用できます。
音声レコーダー	音声レコーダーを利用できます。
バーコードリーダー	バーコードリーダーを利用できます。
エコモード	エコモードを利用できます。
スマホ音声アシスタント	スマホ音声アシスタント呼出機能を利用できます。(▶P.90)

メニュー	概要
安心・安全	
My au	毎月のご請求金額や、データ通信量、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できます。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。
au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報(Jアラートからの配信含む)、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用できます。
データお預かり	写真やアドレス帳など携帯電話に保存されている様々なデータをauのサーバに預けたり、microSDメモ리카ードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
遠隔操作サポート	携帯電話の操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。

メニュー	概要
安心・安全	
あんしんフィルター for au	お子さまが「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。あんしんフィルター for auは、ポインター対応アプリです。
安心ナビ(探される)	自分の居場所を確認して、パートナーにお知らせすることができるサービスです。
mamorino Watchナビ	mamorino WatchとBluetooth®で接続(ペアリング)することで、アプリからの電話発信・SMS(メッセージ)送信・mamorino Watchの各種設定などを行うことができます。
ウイルスバスター for au	不正アプリの取得を防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックしたりできるアプリです。

メニュー	概要
安心・安全	
トビラフォンモ バイル for au	公共施設やお店・企業からの着信のとき、ハローページなどの情報をもとに自動で名前を表示します。また、振り込め詐欺や悪質な勧誘などの迷惑電話の着信に対して警告を表示させたり、自動で着信を拒否したりすることができますので、知らない番号でも安心して電話に出られます。
プロフィール	プロフィールの確認や編集ができます。(▶P.69)
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.96)

※ 追加で取得したアプリは「アプリ取り放題」(▶P.55)に表示されます。



memo



- アプリを起動してそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- アプリのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- オールリセットを実行しても、プリセットされているアプリは削除されません。

アプリ・サービスを利用する

「アプリ・サービス」ではインストールされているアプリを利用したり、追加でアプリを取得したりすることができます。

1 待受画面で → [アプリ サービス]

アプリ・サービス画面が表示されます。

- 待受画面で  を1秒以上長押ししても、アプリ・サービス画面を表示できます。
-  を押すとタブが切り替わります。

2 アプリを選択 →

アプリを取得する

1 待受画面で → [アプリ サービス] →

• 「アプリ取り放題」タブを表示してください。

2 (アプリ取得)

auスマートパスのサイトが表示されますので、画面に従ってアプリを検索、取得してください。

取得したアプリは、「アプリ取り放題」タブに表示されません。



メインメニューを変更する

1 待受画面で → (メニュー)

2 [レイアウト] → でメニューを選択 →

LINEをアップデートする





LINEアプリをアップデートします。

- 1 待受画面で  → [電話 メール] → [LINE] を選択
- 2  (メニュー) → [アップデート]
以降は、画面の指示に従って操作してください。




カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに好みのアプリを登録することで、アプリを簡単に呼び出すことができます。



カスタムメニューにアプリを登録する

- 1 待受画面で  →  (カスタムメニュー)
カスタムメニュー画面が表示されます。
- 2 アプリを登録したい位置の「アプリを登録」を選択 → 
- 3 登録したいアプリを選択 → 





カスタムメニューを利用してアプリを呼び出す

- 1 待受画面で  →  (カスタムメニュー)
- 2 アプリを選択 → 

アプリを並べ替える

- 1 カスタムメニュー画面で並べ替えたいアプリを選択 →  (メニュー)
- 2 [並べ替え] → 並べ替えたい位置を選択 → 

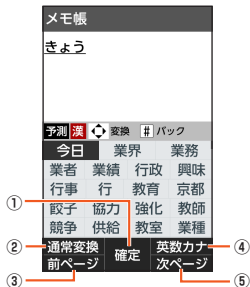
アプリを削除する

- 1 カスタムメニュー画面で削除したいアプリを選択 →  (メニュー)
- 2 [削除] → 削除したいアプリにチェックを入れる → 
 - チェックを入れたアプリが削除されます。
 -  で全選択、 で全解除ができます。

共通の操作を覚える

基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには
画面の下部に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。



- ①「確定」は、を押します。
 - ②「通常変換」は、を押します。
 - ③「前ページ」は、を押します。
 - ④「英数力ナ」は、を押します。
 - ⑤「次ページ」は、を押します。
- ・画像を表示しているときなど、画面の最下行に表示されていない場合は、や、などを押すと表示されます。

■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、やで項目を選択してを押します。

■ 1つ前の画面に戻るには

を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

■ 待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、を押します。

- ・一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
- ・通話中に各機能呼び出ししている場合は、通話が切れる場合があります。
- ・操作中の機能やアプリが終了します。

■ 数字を入力するには

～を押すと、数字を入力できます。

数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、を押すことで、数を増減できます。

■ 前後のデータへ移動するには

メール表示中などに、を押すと次のデータへ、を押すと前のデータへ移動できます。

■ ページスクロールするには

Webページのブラウジング中や、メール一覧画面、メール内容表示画面、データ一覧画面(リスト表示)などでは、を押すと上に、を押すと下にページスクロールできます。

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定のON/OFFを切り替えることができます。

また、データの「選択コピー」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択/選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	設定がON/項目が選択されている状態です。
<input type="checkbox"/>	設定がOFF/項目が選択されていない状態です。

ポインターを利用する

本製品はポインターを \leftarrow / \rightarrow / \uparrow / \downarrow で操作します。ポインターに対応した機能/アプリを起動し、ポインターをONにすると、画面に表示されるポインターを操作できます。

1 ポインターに対応した機能/アプリを起動する

ステータスバーに「 \blacksquare 」(OFF)/「 \square 」(ON)が表示され、ポインターがONの場合は、「 \blacktriangleright 」(ポインター)が表示されます。

- ポインターがOFFの場合は、「ポインターをONにする」(▶P.58)を参照ください。
- ポインターの起動確認画面が表示された場合は、内容を確認してから「この画面を閉じる」を選択してください。「今後表示しない」にチェックを入れると、次回以降、起動確認画面が表示されません。

ポインターの操作について

ブラウザなどを操作するときに、画面上のポインターを上下左右に移動して操作できます。

■ ポインターをONにする

1 ポインターに対応した機能やアプリを起動中に \blacktriangleright を1秒以上長く押す

ポインターのON/OFFの設定が切り替わります。

- ポインターがONの場合でも、キー操作(\leftarrow / \rightarrow / \uparrow / \downarrow / \blacktriangleright / \blacktriangleleft)は可能です(一部のアプリを除く)。

■ ポインターを移動する

☐/☐/☐/☐を押すと、ポインターが上下左右に移動します。また、☐や☐と☐や☐を同時に押すと斜めに移動できます。



■ ボタンなどを選択する


選択したいボタンや項目などの上にポインターがある状態で☐を押すと、そのボタンや項目などが決定(実行)されます。



■ 画面をスクロールする

ポインターが画面の上下左右端にあるときに、☐/☐/☐/☐で画面の外側の方向に動かします。



- ☐を2秒以上長押しするとポインターが「」に変わり、☐/☐/☐/☐で画面をスクロールできるようになります。

キーの操作を無効にする(キーロック)

1 待受画面で☐を1秒以上長く押し→[OK]

キー操作が無効になります。

もう一度☐を1秒以上長押し→[OK]と操作すると、キーロックが解除されます。

- キーロック設定中に着信があった場合は、一時的にキーロックが解除され、電話応答などの操作ができます。

文字入力

文字入力の方法を覚える

■ 文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[1]	▶ あいうえおあいうえお	▶ .@_ / : ~ ? , ' !	1
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ アイウエオアイウエオ	▶ .@_ / : ~ ? , !	1
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[2]	▶ かきくけこ	▶ abcABC2	2
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ カキクケコ	▶ abcABC2	2
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[3]	▶ さしすせそ	▶ defDEF3	3
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ サシスセソ	▶ defDEF3	3
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[4]	▶ たちつてとっ	▶ ghiGHI4	4
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ タチツテトッ	▶ ghiGHI4	4

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[5]	▶ なにぬねの	▶ jklJKL5	5
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ナニヌネノ	▶ jklJKL5	5
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[6]	▶ はひふへほ	▶ mnoMNO6	6
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ハヒフヘホ	▶ mnoMNO6	6
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[7]	▶ まみむめも	▶ pqr sPQRS7	7
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ マミムメモ	▶ pqr sPQRS7	7
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[8]	▶ やゆよやゆよ	▶ tuvTUV8	8
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ヤユヨヤユヨ	▶ tuvTUV8	8
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
[9]	▶ りりるれろ	▶ wxyzWXYZ9	9
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ラリルレロ	▶ wxyzWXYZ9	9

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
□	▶ わをんわ、。ー～！ ？、空白(ｽﾊﾞｰｽ)	▶ 0 空白(ｽﾊﾞｰｽ) ！？、' " _ . -	0
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ ワヲンワ、。ー～！？、 空白(ｽﾊﾞｰｽ)	▶ 0 空白(ｽﾊﾞｰｽ) !"# \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { ~	0

文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
✳	小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ)		小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ)	*	短く押す ...✳
	* (濁点)や° (半濁点)を付加(可能な文字のみ)		文字確定時は		1秒以上長押し.... +(プラス)
	▶ 、。ー～！？ 空白(ｽﾊﾞｰｽ)		▶ . . - ! ?		
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
#	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能)				#
	文字確定時は、改行				1秒以上長押し.... :(ポーズ)

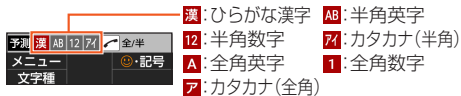
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	メニューから機能引用、定型文などの呼び出し				
	通常変換と予測変換の切り替え(文字種が「漢」の場合のみ)				
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	文字入力時に、絵文字/D絵文字/顔文字/記号の一覧を表示				
	絵文字/D絵文字/顔文字/記号の一覧を切り替え				
文字入力時(変換候補表示中)は、英数カナ変換と予測変換を切り替え					
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	文字種の切り替え				
	前のカテゴリ/ページへの切り替え(絵文字/D絵文字/顔文字/記号/変換候補選択中の場合のみ)				
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
☐	文字を確定直前の状態に戻す				
	次のカテゴリ/ページへの切り替え(絵文字/D絵文字/顔文字/記号/変換候補選択中の場合のみ)				

文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小				—
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大(字数指定予測をONに設定している場合のみ) カーソルが文末にある場合は、半角/全角の空白(スペース)を入力				—
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
	カーソルの上移動 変換候補の選択				—
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行				—
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
	全角と半角を切り替え				—

文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角/半角)	英字 (全角/半角)	数字 (全角/半角)	ダイヤル 入力
<input type="checkbox"/>	短く押す.....カーソルの文字を1文字削除 カーソルに文字がない場合は、カーソル左側の文字を1文字削除				短く押す1桁削除
<input type="checkbox"/>	変換候補の選択時は、候補選択を抜けて1文字削除				
<input type="checkbox"/>	1秒以上長押し....カーソルから右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除				1秒以上 長押し.... すべて削 除

■ 入力する文字の種類を変更するには

文字入力画面で (文字種) を押すたびに文字種が切り替わります。全角/半角を切り替えるには を押します。



電話

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

: カーソルの位置を移動

: 入力した数字を一桁削除

を1秒以上長押し: 待受画面に戻る

(登録): 入力した電話番号を電話帳に登録 (▶P.70)

2 → 通話

- (発信) → [発信] と操作しても、電話をかけることができます。

通話中の操作:

(スピーカーON/スピーカーOFF): ハンズフリー通話ON/OFF

(メニュー): メニューを表示

(マイクOFF/マイクON): ミュートON/OFF

(プロフィール): プロフィールを表示

: 通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節

: 通話を保留

: 通話音声メモを録音

3

memo

- ◎ 送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- ◎ 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。
- ◎ 通話中に画面が消灯しているときに画面を操作する場合は、以外のキーを押すと画面が点灯します。
- ◎ 通話終了後にあとから録音の確認画面が表示された場合は、「はい(今すぐ設定する)」を選択→と操作するとあとから録音を設定できます。
※あとから録音は次回の通話から動作します。

■ 通話音声メモ / あとから録音を利用する

■ 通話音声メモを録音する

通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。

1 通話中画面で

- 「あとから録音」がONの場合は、を押しても操作できません。

■通話音声メモの録音を自動的に開始する(あとから録音)
通話開始と同時に通話音声メモの録音を開始するにはあらかじめ設定が必要です。

1 待受画面で→[電話 メール]→[通話音声メモ]

2 「あとから録音」にチェックを入れる

あとから録音を保存するには

通話が終了すると通話音声メモを保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- [はい]→[OK]と操作すると通話音声メモを保存できます。
- [いいえ]を選択すると録音した通話音声メモは削除されますので、ご注意ください。


■通話音声メモを再生する

1 待受画面で→[電話 メール]→[通話音声メモ]→[通話音声メモリスト]

通話音声メモリスト画面が表示されます。

2 再生する通話音声メモを選択→→ (再生)

通話音声メモが再生されます。

-  (ポーズ)を押すと再生中の通話音声メモを停止します。

memo

- 録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。50件録音されている場合は、保護されていない通話音声メモが、古いものから順に削除されます。すべて保護されている場合、通話音声メモの録音はできません。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

- 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

- ◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に5分間解除されます。

■ ;(手動ポーズ) / ,(自動ポーズ)ダイヤルで電話をかける

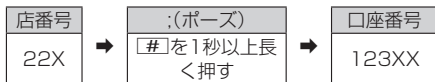
送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中にプッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:;(手動ポーズ)を使用して「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号を入力→[#]を1秒以上長く押す

1番目の:(ポーズ)が入力されます。


2 送信するプッシュ信号を入力





2番目の:(ポーズ)が入力されます。

※:(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3

通話状態になると、確認画面が表示されます。送信先が電話を受けていることを確認してから「はい」を選択してください。「はい」を選択してを押すごとにプッシュ信号を送信します。

memo


- ◎ (自動ポーズ)ダイヤルで電話をかける場合は、電話番号を入力→ (メニュー) → [自動ポーズ(.)] → 送信するプッシュ番号を入力→ と操作します。
- ◎ 電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

履歴を利用して電話をかける


1 待受画面で (着信履歴) / (発信履歴)

着信履歴／発信履歴一覧画面が表示されます。

着信履歴／発信履歴の他に、発信頻度も確認できるようになります。

-  を押して着信履歴／発信履歴／発信頻度一覧画面を切り替えることができます。

 :着信

 :不在着信

 :不在着信(ワン切り*)

 :着信拒否

 :発信


 :伝言メモ／通話音声メモあり

 :お留守番サービスのメッセージあり

※約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につながる行為の可能性がありますのでご注意ください。

2 履歴から電話をかける相手を選択→




選択した相手に電話を発信します。

- 着信履歴／発信履歴一覧画面で履歴を選択→ (詳細) と操作すると着信履歴／発信履歴詳細画面が表示されます。発信頻度一覧画面では詳細画面は表示されません。


スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。また、メールを送信することもできます。

スピードダイヤルに登録する

- 1 待受画面で  → [電話 メール] → [スピードダイヤル]
- 2 登録したい番号の<未登録>を選択 →  (編集)
 - ・連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができます。
- 3 登録する連絡先を選択 →  → [OK]

スピードダイヤルで発信する

- 1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力
- 2 
 - (発信) → [発信] と操作しても、電話をかけることができます。



memo

- スピードダイヤルで+メッセージ(SMS)やメールを送信する場合は、待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力 → ● (発信) → [+メッセージ作成] / [メール作成] と操作します。


au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

- 1 国際アクセスコード「010」を入力
待受画面で  を1秒以上長押しすると、「+」が入力されたダイヤル画面が表示され、発信時に「010」が自動で付加されます。
- 2 アメリカの国番号「1」を入力
- 3 市外局番「212」を入力
市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。
- 4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力
→ 

memo

- 電話番号の入力中に  (発信) → [特番付加] → [国際電話] と操作しても国番号を入力できます。
- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

- ◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- ◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から(局番なしの)157番(通話料無料)
一般電話から☎0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

電話に出る

1 着信中に/☎(応答)

通話を開始します。

2 通話→

■ 電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。
- ・相手の方から電話番号の通知がないと、理由が表示されます。


「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。


memo

- ◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「データ使用量」の「モバイルデータ」をOFFにしてご利用ください。

かかってきた電話に出なかった場合は

- ◎ ステータスバーにが表示されます。通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

- ◎ 着信中にを押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

- ◎ 電話帳などの他の機能をご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。
- ◎ 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。
- ◎ 音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されます。
- ◎ マナーモード(ドライブ)に設定している場合は、自動的に伝言メモが起動します。

着信を拒否する

1 着信中に (拒否)

着信音が止まって電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

- ・着信中にを押して着信拒否することもできます。

ステップアップ着信を設定する

不在着信通知を受けた後、同じ電話番号から10分以内に再度着信を受けると着信音をステップアップしてお知らせするように設定します。

1 待受画面で  → [電話 メール] → [通話設定] → [着信設定]

2 「ステップアップ着信」にチェックを入れる
 ・お買い上げ時にはONに設定されています。

不在通知のスヌーズを設定する


未確認の不在着信通知がある場合、スヌーズ通知するように設定します。

1 待受画面で  → [電話 メール] → [通話設定]




2 「不在通知のスヌーズ」にチェックを入れる
 ・次の場合にスヌーズ動作が停止します。
 - 着信履歴を表示したとき
 - 着信してから60分経過したとき

伝言メモを設定する

1 待受画面で  → [電話 メール] → [伝言メモ]




2 伝言メモリスト	▶ P.69「伝言メモを再生する」
伝言メモ応答設定	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。 ・待受画面で  を1秒以上長押ししても設定できます。
応答時間	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
応答メッセージ	伝言メモの応答メッセージを設定します。オリジナルの応答メッセージを作成することもできます。

伝言メモを再生する





- 1 待受画面で→[電話 メール]→[伝言メモ]
- 2 [伝言メモリスト]
 - 待受画面で[clear]を押しても伝言メモリスト画面を表示できます。
- 3 再生する伝言メモを選択→
 - 伝言メモが再生されます。
 -  (ポーズ) で再生中の伝言メモを停止します。

自分の電話番号を確認する

プロフィールを確認する


- 1 待受画面で→[プロフィール]
プロフィール画面が表示されます。
 - 待受画面で→と操作しても確認できます。

プロフィールを編集する

- 1 プロフィール画面で (メニュー) → [編集]
プロフィール編集画面が表示されます。
- 2 必要な項目を入力
 - 編集中に (メニュー) → [項目追加] → 追加する項目にチェックを入れる →  (追加) と操作すると、項目を追加できます。
- 3  (登録) → [OK]



memo

- ◎ プロフィール編集についての注意事項は、電話帳登録と同様です。詳しくは、「電話帳に登録する」(▶P.70)をご参照ください。
- ◎ プロフィール画面で (メニュー) → [リセット] → [はい] → [OK] と操作すると、プロフィールをリセットできます。

電話帳

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブレーションなどを設定することもできます。

1 待受画面で☎を1秒以上長く押す

電話帳編集画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

・登録中に☎(メニュー)→[項目追加]→追加する項目にチェックを入れる→☎(追加)と操作すると、項目を追加できます。

3 ☎(登録)→[OK]



memo

- ◎登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- ◎名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
- ◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」で設定した着信音は鳴動しません。

- ◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎特定の連絡先を普段は表示させないようにしたい場合は、「シークレット設定」をONに設定してください。シークレット設定をした連絡先を表示するには、「表示設定」から設定してください。

電話帳の一覧を利用する

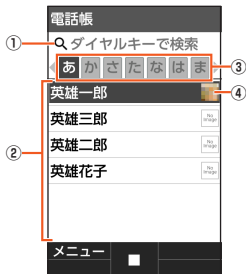
電話帳一覧画面を表示する

1 待受画面で☐

電話帳一覧画面(名前順)が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法が「グループ順」の場合は電話帳一覧画面(グループ順)が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

■ 電話帳一覧画面の見かた



《電話帳一覧画面(名前順)》

①ダイアルキーで検索

電話帳一覧画面でダイアルキーを押すと、検索文字を入力して連絡先を検索できます。**[clear]**を押して検索文字を削除すると検索を解除します。

②連絡先

選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

③タブ

④画像

表示設定で「画像表示」を「表示する」に設定している場合、登録している画像があるときは、画像が表示されます。



memo

◎ を押してタブを切り替えられます。

電話帳の登録内容を利用する

1 待受画面で☰→連絡先を選択→☑

電話帳簡易画面が表示されます。

2 ☑(詳細)

電話帳詳細画面が表示されます。

■ 電話帳簡易画面／詳細画面の見かた



《電話帳簡易画面》

《電話帳詳細画面》

- 1 名前
- 2 登録内容
- 3 画像
- 4 通常使用の電話番号／通常使用のメールアドレス

memo

- 登録内容を選択して☑を押すと電話の発信、メールの作成などができます。
- 電話番号／メールアドレスを選択して☑→[通常使用]と操作すると、通常使用の電話番号／メールアドレスに設定できます。
- ☰(メニュー)→[編集]と操作すると、登録内容を編集できます。

よく通話する相手をペア機能に登録する

よく連絡する相手の方(最大3件)を電話帳から選択してペア相手に登録しておく、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で

ペア登録確認画面が表示されます。


2 で登録先を選択→ (登録)

電話帳の一覧画面が表示されます。

3 電話帳を選択→→[OK]

メールアドレスが登録された連絡先を選択した場合は、テストメールを送信するかどうかの確認画面が表示されます。[はい] / [いいえ] を選択したあと、画面に従って操作します。

memo

- ◎ 電話帳に複数の電話番号 / メールアドレスが登録されている場合は、操作 3 で  を押した後、ペア機能で利用する電話番号 / メールアドレスを選択する画面が表示されます。
- ◎ シークレット設定をした連絡先は登録できません。また登録済みのペア相手を編集してシークレット設定すると、ペア登録が解除されます。


ペア機能を利用する

登録したペア相手に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で→でペア相手を選択

2 電話をかける	電話をかけます。
Eメールを送る	メールアドレスを宛先とした送信メール作成画面を表示します。
+メッセージを送る	電話番号を宛先とした+メッセージ(SMS)作成画面を表示します。

memo

- ◎ ペア画面で  (メニュー) → [ペアを変更] / [ペアを解除] と操作すると、ペア相手の変更や解除ができます。

Eメール

Eメールを確認する


受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 待受画面で

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 [受信ボックス] / [送信ボックス] / [未送信ボックス] / フォルダを選択 →

Eメール一覧画面が表示されます。

-  (2行切替 / 3行切替): メール一覧の表示を切り替えます。

3 Eメールを選択 →

Eメール詳細表示画面が表示されます。

-  (前): 前のEメールを表示
-  (次): 次のEメールを表示

memo

- 「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- 「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態です。受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- 「送信ボックス」 / 「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメールは削除されません。

■ フォルダー一覧画面の見かた

フォルダー一覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」を選択してフォルダを作成すると表示されます。



① 新規作成

② 受信ボックス

③ インフォボックス

インフォボックスメールを表示できます。

④ 送信ボックス

⑤ 未送信ボックス

⑥ 作成したフォルダ

⑦ 未読・未送信メール件数

■ Eメール一覧画面の見かた



《受信メール一覧画面》



《送信メール一覧画面》



《未送信メール一覧画面》



《フォルダメール一覧画面》

- ① ●:未読のEメール
○:本文を未受信のEメール

② 件名

③ 宛先/差出人の名前またはメールアドレス

電話帳に登録があるメールアドレスの場合には、登録された画像/名前が表示されます。未登録のメールアドレスの場合にはEメールアドレスが表示されます。受信したEメールに差出人名前が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。

- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

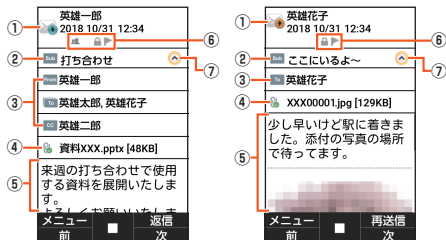
④ アイコン

- ←:返信したEメール
- :転送したEメール
- ↔:返信/転送したEメール
- 📎:添付データあり
- 🔒:保護されたEメール
- ▶:フラグ設定Eメール
- ⚠:送信に失敗したEメール
- 🔄:自動再送信Eメール

⑤ 受信/送信切替スライダー

フォルダ内の受信メール一覧と、送信メール一覧を切り替えて表示できます。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》

《送信メール詳細表示画面》

① 宛先/差出人の名前またはメールアドレス

② Sub: 件名

③ From: 差出人の名前またはメールアドレス

To / CC / BCC: 宛先の名前またはメールアドレス

④ 添付ファイル

- 📎: 保存された添付データ
- 📎: 保存に失敗した添付データ
- 📎: 保存されたインライン添付データ
- 📎: 未受信の添付データ
- 📎: 受信に失敗した添付データ

⑤ 本文

⑥ アイコン

- ↩: 返信したEメール
- ➡: 転送したEメール
- ↩: 返信/転送したEメール
- 👤: 複数の宛先あり
- 📧: BCCの宛先で受信したEメール
- 🔄: 自動再送信するEメール
- ⚠: 送信に失敗したEメール
- 🔒: 保護されたEメール
- 🚩: フラグ設定Eメール

⑦ / : 詳細情報の表示/非表示

Eメールを送信する

1 待受画面で→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 アドレス入力欄を選択→ (編集)

3 アドレス帳引用	電話帳のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。 グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。

メール受信履歴引用	受信メール履歴/送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス直接入力	メールアドレスを直接入力します。
貼り付け	コピーしたメールアドレスを貼り付けます。

* 表示される項目は、条件によって異なります。

4 件名入力欄を選択→ (編集)→件名を入力

→ (完了)

5 本文入力欄を選択→→本文を入力→

(完了)

6 (送信)→[送信]



memo

- ◎ 送信メール作成画面で (保存)を押すと、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
- ◎ デコレーションアニメには対応していません。
- ◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- ◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件 (To/Cc/Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。

- ◎ 絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されなかったりすることがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換されることがあります。
- ◎ 送信時確認表示は非表示にすることができます。
- ◎ あらかじめ「自動再送信」をONにすると、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。
- ◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)のデコレーション絵文字を挿入できます。
※ 一度挿入したデコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合



1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄を選択→

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.77)の操作 **3** をご参照ください。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→削除する宛先を選択 →→[削除]→[削除]




- ◎ 「」を選択→と操作すると、宛先の種類(To/Cc/Bcc)を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- ステータスバーにが表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ステータスバーにメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- 通知ランプが点滅します。
- 「通知ポップアップ」をONに設定している場合は、画面の消灯時に受信したときに通知ポップアップが表示されます。

2 待受画面で→[受信ボックス]



Eメール一覧画面が表示されます。

3 受信したEメールを選択→

Eメール詳細画面が表示されます。



memo

- ◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」をOFFに設定した場合は、バックグラウンド受信しません。
- ◎ 「メール自動受信」をOFFに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り「」が表示されます。「新着確認」を行い、Eメールを受信してください。
- ◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
- ◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- ◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

新着メールを問い合わせで受信する

「メール自動受信」をOFFに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせで受信することができます。

1 待受画面で

フォルダー一覧画面が表示されます。

2 (新着確認)

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

+メッセージ(SMS)

+メッセージのご利用にあたって

初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

+メッセージのモードについて

+メッセージは、相手が+メッセージを利用している場合は、スタンプや写真や動画等のコンテンツを送ることができます。

相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとしてテキスト文のみを送ることができます。

+メッセージのご利用方法を確認する

1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

待受画面で☑→☑(+メッセージ)と操作しても表示できます。

2 ㊦(マイページ)→[ヘルプ]

以下の内容がブラウザで確認できます。ご希望の操作説明をご確認ください。

- ・よくあるご質問
- ・使い方ガイド



memo

- ◎ 上記をご利用の場合、インターネットに接続します。ご契約の料金プランがデータ定額プランでない場合は、パソコン等からご確認ください。

連絡先を登録する

QRコードによる連絡先登録

+メッセージ(SMS)利用者同士であれば、+メッセージ(SMS)専用QRコードを読み込むことで、連絡先として登録できます。

1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

待受画面で☑→☑(+メッセージ)と操作しても表示できます。

2 ㊦(マイページ)→[QRコード]→[読取]



memo

- ◎ 専用のQRコードを表示するには、+メッセージ(SMS)で㊦(マイページ)→[QRコード]→[QRコード表示]と操作します。

新しい連絡先を登録

1 待受画面で☑を1秒以上長く押す

待受画面で☑→☑(+メッセージ)と操作しても表示できます。

2 登録する連絡先からのメッセージを選択→



☑(メニュー)→[電話帳に登録する]

電話帳アプリの新規登録画面へと遷移するので、新しい連絡先を登録します。


メッセージを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字のメッセージ(メール本文)に加え、スタンプ・写真・動画等のコンテンツを送信できます。

1 待受画面でを1秒以上長く押す

待受画面で→(+メッセージ)と操作しても表示できます。

2 (新規作成) → [個人に送る]

同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧で相手を選択→と操作してもメッセージを作成できます。

3 宛先の選択画面で相手先を選択→

- ・「名前、番号で検索…」欄に、名前を入力すると電話帳に登録されている相手先を検索できます。
- ・「名前、番号で検索…」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- ・SMSを海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 + 国番号 + 相手先電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

4 (文字入力) → 本文を入力 → (完了)


本文は、相手先が+メッセージを利用している場合、2,730文字相当まで入力できます。

SMSモード利用の場合、全角最大670/半角最大1,530文字まで入力できます。

※国内・海外他事業者宛には全角最大70/半角最大160文字まで送信できます。

5 (送信)

メッセージが送信されます。

送信したメッセージを選択→ (メニュー) → [メッセージを操作する]と操作すると、コピー/転送/削除ができます。


PCメール

普段パソコンやスマートフォンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンやスマートフォンと同じようにメールを送受信できます。










- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。
- PCメールの受信は「同期頻度」の設定に従って行なわれます。リアルタイム受信はできません。

PCメールのアカウントを設定する



設定するアカウント情報については、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に問い合わせてください。

- 1 待受画面で  → [電話 メール] → [PCメール]
- 2 画面に従って操作



メールを送信する

- 1 待受画面で  → [電話 メール] → [PCメール]
- 2  (メニュー) → [新規作成]
- 3 宛先入力欄を選択 →  → 宛先を入力 →  (確定)
- 4 件名入力欄を選択 →  (編集) → 件名を入力 →  (完了)
- 5 本文入力欄を選択 →  (編集) → 本文を入力 →  (完了)
- 6  (送信)

メールを受信する

- 1 待受画面で  → [電話 メール] → [PCメール]
受信トレイ画面が表示されます。
- 2  (メニュー) → [今すぐ同期]

PCメールを返信／転送する

- 1 受信トレイ画面 → メールを選択 → 
- 2  (メニュー) → [返信] / [全員に返信] / [転送] → 画面に従って操作


LINE

LINEはいつでも、どこでも、通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。

- LINEを利用するには事前にアプリのアップデートと、アカウントの登録が必要となります。利用方法などの詳細については、LINEのサイトや、LINEの画面→[その他]→[設定]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。
- LINEは、ポインター対応アプリです。

1 待受画面で→[電話 メール]→[LINE]

LINEのトップページが表示されます。

- お買い上げ時の状態では、を1秒以上長押ししてもLINEを起動できません。
- 初回起動時にはアップデートを行い、ログイン画面を表示します。新規登録時には利用規約などが表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

memo

- ◎ ゲームやGoogleドライブを利用したトーク履歴の一括バックアップなど、スマートフォンにある一部の機能は本製品では利用できません。なお、トーク履歴については、トーク単体であればバックアップ可能です。

インターネット接続

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。



- ◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。
- ◎EZwebサイトはご利用いただけません。従来の3Gケータイでご利用いただいたコンテンツは継続してご利用いただけません。また、お客様ご自身での退会手続きが必要です。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、待受画面で[●]→[設定]→[無線・ネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作してください。



◎LTEフラットなどのデータ通信料定額/割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額/割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auのホームページをご参照ください。

■データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

- ブラウザは、ポインター対応アプリです。
- Webページによっては、本製品の画面に最適化されずに表示する場合があります。

Webページを表示する

1 待受画面で

ブラウザメニュー画面が表示されます。

2 ホームページ	インターネットに接続してWebページを閲覧できます。
お気に入り	登録したお気に入りの利用・管理をします。
Web検索・URL入力	URLを直接入力してサイトを表示できます。また、キーワードを入力して、Webページの情報を検索できます。
履歴	閲覧履歴を表示します。
My au	My auのホームページを表示します。
au Design project	「au Design project」のWebページ画面を表示します。


ダウンロード	ダウンロードの履歴を表示します。
設定	ブラウザの設定を変更します。

ポインターで操作する

ポインターの機能を利用して、ブラウザを快適に閲覧できます。ポインターについて詳しくは、「ポインターを利用する」(▶P.58)をご参照ください。

1 Webページでを1秒以上長く押す

ポインターがONになります。

もう一度を1秒以上長く押すと、ポインターがOFFになります。

2 ポインターを使って操作する

カメラ

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明なフォト／ムービーを撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷つけるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- ムービーを録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。

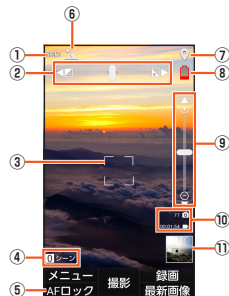
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード設定中でもフォト撮影のフォーカスロック音やシャッター音、ムービー撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。

- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加されたフォトをインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

撮影画面の見かた

1 待受画面で📷

- 待受画面で📷→[カメラ]と操作してもカメラを起動できません。
- microSDメモ리카ードが取り付けられているときは、確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- データの保存先を切り替えるには、📷(メニュー)→[保存先]→[本体ストレージ]／[SDカード]と操作してください。



- ① **撮影モードアイコン**
撮影モードを「連写」や「シーン」、「エフェクト」、「タイムラプス」に設定しているときにモードアイコンが表示されます。
 - ・設定しているエフェクトによっては調整バーが表示され、設定を調整できます。
- ② **EV補正**
☑️を押すと補正バーが表示され、露出の明るさを調整できます。
- ③ **フォーカス枠**
- ④ **□**
表示されているキーを押すと、設定中の撮影モードで、シーンやエフェクト、倍速指定の切り替えができます。
- ⑤ **AFロック**
ピントを合わせた状態で固定することができます。
- ⑥ **撮影シーンアイコン／秒数アイコン**
 - ・撮影モードが「シーン」の場合は、設定したシーンのアイコンが表示されます。
 - ・撮影モードが「タイムラプス」の場合は、秒数のアイコンが表示されます。
- ⑦ **位置測位中／位置情報付加**
📍(位置測位中) 📍(測位成功) 📍(測位失敗)
- ⑧ **電池レベル状態**
電池残量が少なくなったときに表示されます。

- ⑨ **ズーム**
🔍を押すとズームバーが表示され、ズームを調整できます。
- ⑩ **撮影可能残り枚数／録画時間**
保存先のストレージ容量が少なくなったときに表示されます。
- ⑪ **直前に撮影／録画したデータ**
直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。
🖼️(最新画像)を押すとデータが表示されます。

フォトを撮影／ムービーを録画する

1 待受画面で📷

モニター画面が表示されます。

■フォトを撮影する場合

2 📷(撮影)

ピントが合い、撮影されます。撮影したデータは自動的に保存されます。

- ・「撮影画像の表示」がONの場合、撮影した画像が表示されます。🗑️(削除)→[はい]と操作すると、撮影した画像を削除できます。

■ムービーを録画する場合

2 (録画)

録画が開始されます。

録画中に (撮影) を押し、フォトを撮影できます。

3 (停止)

録画が停止します。録画したデータは自動的に保存され
ます。



memo

- ◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせる
コンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によ
っては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ◎ 「スマイルシャッター撮影」をONにし、セルフタイマー撮影
を行った場合、カウントダウン終了後に一度撮影後、笑顔を
検出して、自動的に撮影します。
- ◎ 録画中は送話口(マイク)でのみ、録音できます。

スマホ音声アシスタント呼出機能




スマートフォンとBluetooth®(HFPプロファイル)で接続(ペアリング)することで、通話をしているようなスタイルで、スマートフォンのGoogleアシスタントやSiriなどの音声アシスタント機能を利用することができます。

1 待受画面で → [ツール] → [スマホ音声アシスタント]

スマホ音声アシスタント画面が表示され、スマートフォンとペアリングを行います。画面の指示に従って操作してください。

- お買い上げ時の状態では、**[2]**を1秒以上長押ししてもスマホ音声アシスタント呼出機能を起動できません。
- 「利用上の注意」画面が表示された場合は、内容を確認してから「この画面を閉じる」を選択してください。「今後表示しない」にチェックを入れると、次回以降、「利用上の注意」画面は表示されません。

2 音声で質問や指示をする

- を押すとはじめからやり直すことができます。
- を押すと音量を調節できます。
- 終了する場合は、**clear**または  → [はい] と操作してください。

■ スマホ音声アシスタント画面のメニューを利用する

1 スマホ音声アシスタント画面で (メニュー)

2 出力先	出力先を「受話口／イヤホン」 「スピーカー」から選択します。
再ペアリング	別のスマートフォンとペアリング することができます。 • ペアリング中の場合は、接続を 解除します。
利用上の注意	利用上の注意が表示されます。



memo

- ◎ 音声アシスタント機能搭載のスマートフォンでも利用できない場合があります。
- ◎ スマートフォンの設定によっては利用できない場合があります。
- ◎ 質問した内容によっては音声応答されない場合があります。
- ◎ スマートフォン側の仕様により起動できない場合があります。
 - Googleアシスタントが起動しない場合は、スマートフォン側で「Google」アプリを最新のソフトウェアへ更新してください。
 - Siriが起動しない場合は、端末側で[設定] → [Siriと検索] と操作し、「ロック中にSiriを許可」が有効になっていることを確認してください。

テレビde写真



「テレビde写真受信機(別売)」をテレビに接続すると、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビに映すことができます。

1 テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続

- ・詳細はテレビde写真受信機(別売)の取扱説明書を参照してください。

2 データフォルダでテレビに映したい画面を本製品で表示

3 (メニュー) → [テレビde写真] → [映す]

- ・初めてテレビde写真受信機(別売)と接続するときは、テレビ画面に表示された「au_XXXXXX」を選択 →  と操作してください。
- ・「使い方の説明」「機能の説明」を選択すると、テレビde写真のガイドを確認することができます。
- ・待受画面で  を押す(通知表示ありの場合は「テレビ接続中」を選択する) と、写真一覧画面への遷移、スライドショー、接続の切断、接続先の変更ができます。



memo

- Miracastに対応した受信機でも本機能をご利用になれます。
※ 受信機によっては利用できない場合があります。
- テレビde写真受信機(別売)接続中は、本製品から音量調整できない場合があります。

FMラジオ

本製品に別売りのイヤホンや変換アダプタなどを接続すると、アナログFMラジオを利用することができます。ワイドFMに対応しており、AMラジオ番組も聴くことができます。

- ・イヤホンを接続すると、音声がいヤホン出力になります。








1 本製品に別売りのイヤホン、変換アダプタなどを接続

2 待受画面で → [音楽] → [FMラジオ] → [OK]

3 地方を選択 →

4 都道府県を選択 →

■ FMラジオ画面での操作

-  : イヤホン接続時のスピーカーON/OFFの切り替え
-  : 音量調節
-  : 周波数の切り替え(短押しでチューニング、長押しで自動チューニング)
-  : FMラジオの終了
-  (メニュー) : 周波数の入力、お気に入りへの登録、オフタイマーの設定、エリア変更
-  (登録一覧) : 登録した周波数の表示
-  : バックグラウンド再生に切り替え



memo

- ◎ 地方や都道府県を選択は初回起動時のみ必要です。
- ◎ データ通信は行わないため、通信費はかかりません。
- ◎ 別売りのイヤホン、変換アダプタ、ACアダプタ、USBケーブルがアンテナとなります。ただし、充電時、受信環境、ケーブルの状態によりノイズが入る場合があります。
- ◎ 屋内や乗り物の中では電波を受信しにくいことがあります。できるだけ窓際で使用した方が受信しやすくなります。
- ◎ バックグラウンド再生時にFMラジオを再び起動するには、を1秒以上長く押す→FMラジオの通知を選択→と操作してください。FMラジオを終了するには、→[はい]と操作してください。

アラーム

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 待受画面で→[ツール]→[時計／カレンダー]→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 (メニュー)→[新規作成]


アラームを選択→ (編集)と操作すると、アラームを編集できます。

3 各項目を設定する


アラーム時刻	アラームの鳴動する時刻を設定します。
繰り返し設定	繰り返しアラームが鳴動するように設定します。
アラーム名	アラームの名前を変更します。
アラーム音	アラーム音を変更します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ設定	スヌーズを利用するかどうことやスヌーズの間隔を設定します。
バイブパターン	バイブレータの動作パターンを設定します。
鳴動時間	アラームの鳴動時間を設定します。

4 (登録) → [OK]

memo

- アラーム一覧画面で  を押すたびに選択したアラームの ON/OFF が切り替わります。
- 本製品の電源が切れている状態でも、「オートパワーオン」(▶P.93) が ON に設定されているときは、設定したアラームの時刻が近づくとき電源が入りアラームが鳴動します。

アラームを設定した時刻になると

- アラーム音やパイプレータでお知らせします。
 - ・アラームを停止するにはいずれかのキーを押します。
- スヌーズを解除するときは  を 1 秒以上長押しします。

アラーム一覧画面のメニューを利用する


1 アラーム一覧画面で (メニュー)

新規作成	▶P.92「アラーム」
削除	アラームを1件または、選択削除します。
設定	アラームの音量 アラームの音量を設定します。 アラーム優先 マナーモード中にアラームを鳴動させるかどうかを設定します。 オートパワーオン 電源が切れている状態時に、設定した時刻に電源を入れ、アラームを鳴動させるかどうかを設定します。

簡易ライト

1 待受画面で→[ツール]→[簡易ライト]

簡易ライトが点灯します。

- お買い上げ時の状態では、**[3]**を1秒以上長押ししても簡易ライトを点灯できません。
- 、**[clear]**を押すと消灯します。



memo

- ◎ 簡易ライトを目に近付けて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に簡易ライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

漢字チェック

画数の多い漢字などを画面に大きく表示して確認することができます。1回に100文字まで確認できます。


1 待受画面で→[ツール]→[漢字チェック]

2 チェックしたい漢字を入力→ (完了) → で文字を選択

漢字チェック画面に入力した文字が1文字ずつ表示されます。



memo

- ◎ 漢字チェック画面で (編集) を押し、入力した文字を編集できます。




スクリーンショット

1 とを同時に1秒以上長く押す

表示している画面のスクリーンショットを撮影します。

- 撮影したスクリーンショットはデータフォルダの「画像」から確認できます。


memo

- ◎ アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。
- ◎ とを同時に長く押さないと、誤動作の原因となります。
※待受画面でが早く押されると「フェイク着信」(▶P.35)が鳴動します。

バッテリーケアモード

満充電しないことで、電池の寿命を延ばすことができます。

1 待受画面で→[設定]→[エコ・電池]→[バッテリーケアモード]→[ON]

バッテリーケアモードが設定されると、電池アイコンにハートマークが表示されます。

memo

- ◎ バッテリーケアモードをONにすると、充電が85%で止まります。1回の充電での使用時間は短くなります。
- ◎ 充電が85%に達すると、充電ランプが消灯します。
- ◎ 86%以上の状態でバッテリーケアモードをONにした場合、85%に減るまで充電されません。

端末設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 待受画面で → [設定]

項目	概要
au ID設定	au IDを設定します。
壁紙・ディスプレイ	壁紙やディスプレイの明るさの設定、フォントサイズの切り替えなどを行います。
サウンド・通知	マナーモードの設定や着信時の音量、音、LEDおよびバイブレータのパターンなどを変更できます。
ロック	端末のロックの設定をします。
無線・ネットワーク	Wi-Fi [®] 、Bluetooth [®] 、機内モード、モバイルネットワーク、テザリングおよびVPNなどネットワークについて設定します。
エコ・電池	エコモード設定や電池利用状況の確認、バッテリーケアモードの設定ができます。
オールリセット	本製品の初期化を行います。

項目	概要
その他の設定	カスタマイズキー、ポインター、セキュリティ、ストレージ、アプリ、位置情報、アカウント、言語と入力、日付と時刻、ユーザー補助の設定をしたり、端末情報や認証情報などを確認したりします。

マナーモードを設定する

マナーモードを選択するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 待受画面で → [設定] → [サウンド・通知] → [マナーモード]

マナーモード設定メニューが表示されます。

2 マナーモード	本製品のスピーカーから音を鳴らしません。また、バイブレータがONになります。
サイレントモード	音を鳴らさないだけでなく、バイブレータもOFFになります。
ドライブモード	音を鳴らさないだけでなく、バイブレータもOFFになります。着信時には相手に運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。

オリジナルモード

着信の種類ごとに着信音量を決めるなど、お好みに合わせてマナーモードの設定を編集できます。



memo

- ◎ 自動車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。運転中はマナーモードを「ドライブモード」に設定してください。
- ◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始音／終了音は鳴動します。また、アラームの設定によってはアラーム音も鳴動します（ドライブモードは除く）。
- ◎ マナーモード設定中に消音の状態でデータが再生された場合、機能によっては、再生中に(🔊)を押すと、音量を調節できます。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。





memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi®)親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

- 1 待受画面で→[設定]→[無線・ネットワーク]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®設定画面が表示されます。

- 2 「Wi-Fi」にチェックを入れる

Wi-Fi®がONに切り替わります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 待受画面で→[設定]→[無線・ネットワーク]→[Wi-Fi]

Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi®設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

- 2 アクセスポイントを選択→

- 3 パスワードを入力→ (接続)




「パスワードを表示する」をONにすると、入力中のパスワードを表示できます。



memo

- ◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- ◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用にできない場合があります。

アクセスポイントとの接続を切る

- 1 待受画面で→[設定]→[無線・ネットワーク]→[Wi-Fi]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→→
(削除)



memo

- ◎ アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

■ ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。

1 待受画面で  → [設定] → [その他の設定] → [端末情報] → [ソフトウェア更新]

2 [ソフトウェア更新]

以降は、画面の指示に従って操作してください。






memo


- ソフトウェア更新後に元のバージョンに戻すことはできません。


故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	 と  を同時に10秒以上長押しすると強制的に電源を切り再起動することができます。	—
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	—
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	—

こんなときは	ご確認ください	参照
電話がかかけられない	電源は入っていますか？	—
	正しいau ICカードが挿入されていますか？	P.38
	電話番号が間違っていないか？ (市外局番から入力していますか？)	P.63
	電話番号入力後、  を押していますか？	P.63
電話がかかってこない	「機内モード」が設定されていますか？	P.33
	電波は十分に届いていますか？	P.49
	サービスエリア外にいませんか？	P.49
	電源は入っていますか？	—
	正しいau ICカードが挿入されていますか？	P.38
	「着信拒否」が設定されていないか？	—
	「機内モード」が設定されていないか？	P.33
	「着信転送サービス」が設定されていないか？	—

こんなときは	ご確認ください	参照
「  」(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.49
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.36
	正しいau ICカード以外のカードが挿入されていませんか？	P.38
キーの操作ができない	電源は入っていますか？	—
	ロックが設定されていませんか？	—
	電源を切り、もう一度電源を入れてください。	—
ポインターが意図した通りに動作しない	ポインターの正しい操作方法をご確認ください。	P.58
	電源を切り、もう一度電源を入れてください。	—
ブラウザ画面でポップアップの操作ができない	ポップアップなどが表示された場合は、ポインターで操作してください。	P.58

こんなときは	ご確認ください	参照
充電してくださいなど表示された	電池残量がほとんどありません。	P.49
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.68
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ・赤色の充電ランプが消灯するまで、充電してください。	—
	バッテリーケアモードが設定されていませんか？	P.95
	内蔵電池が寿命となっていますか？	P.26
	「  」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.49
電話をかけたときに受話口から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.49
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのおかけ直してください。	—

こんなときは	ご確認ください	参照
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていますか？	P.49
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？温度によって機能を停止する場合があります。	P.23
FMラジオが入らない／ノイズが出る	別売りのイヤホンや変換アダプタなどを接続していますか？イヤホンなどのケーブルがFMラジオのアンテナになりますので、必ず接続してください。	P.91
	充電中や受信環境、ケーブルの状態によりノイズが入る場合があります。	P.91
スマホ音声アシスタント呼出機能が利用できない	スマートフォンとペアリングできていますか？	P.90

以下のauホームページからもご確認ください。
<https://www.au.com/trouble-check/>

位置検索サポート

位置検索サポートをご利用になると、au電話の置き忘れや紛失時に、お客さまセンターがお客さまに代わってau電話のおおよその位置を検索したり、画面のロックをかけたりすることができます。

■ お客さまセンターに電話して位置検索・遠隔ロックをかける／解除する

- 一般電話からは **☎ 0077-7-113**(通話料無料)
- au電話からは **局番なしの113**(通話料無料)
- 受付時間 **24時間(年中無休)**
- ・音声ガイドランスに従ってお手続きをしてください。

■ 位置検索の設定を切り替える

本製品は、あらかじめ位置が検索できるように位置測位設定が「許可する」に設定されています。次の操作から位置測位設定を「許可しない」へ変更することができます。

1 待受画面で  → **[設定]** → **[その他の設定]** → **[位置情報]**

2 **[位置検索サポート]** → **[許可する]** / **[許可しない]**



memo

- ◎ 詳しくは、『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。『取扱説明書 詳細版』はauホームページからダウンロードできません。

アフターサービス

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

- ※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。



memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- ◎ 本製品本体以外の付属品および試供品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。

3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
- ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- ※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>



memo

- ◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する故障紛失サポートは自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

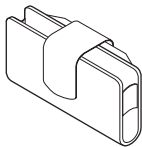
- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、待受画面で $\left[\text{設定} \right] \rightarrow \left[\text{その他の設定} \right] \rightarrow \left[\text{端末情報} \right] \rightarrow \left[\text{SIMカードの状態} \right]$ から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

■卓上ホルダ(KYX31PUA)

■auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)



auキャリングケースGブラック

■共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)

共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)

共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)

共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)

共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)

共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)

AC Adapter JUPITRIS(ホワイト)

(L02P001W)(別売)

AC Adapter JUPITRIS(レッド)(L02P001R)

(別売)

AC Adapter JUPITRIS(ブルー)(L02P001L)

(別売)

AC Adapter JUPITRIS(ピンク)(L02P001P)

(別売)

AC Adapter JUPITRIS(シャンパンゴールド)

(L02P001N)(別売)

■ポータブル充電器02(0301PFA)(別売)

■microUSBケーブル01(0301HVA)(別売)

microUSBケーブル01 ネイビー(0301HBA)(別売)

microUSBケーブル01 グリーン(0301HGA)(別売)

microUSBケーブル01 ピンク(0301HPA)(別売)

microUSBケーブル01 ブルー(0301HLA)(別売)

- 平型-microUSB変換アダプタ01(0301QXA)(別売)
- 3.5φ-microUSB変換アダプタ01(0301QNA)(別売)
- microUSBモノラルイヤホン01(0301QLA)(別売)
- microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(0301QVA)(別売)
- テレビde写真受信機(0603RKA)(別売)



memo

◎周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
<http://onlineshop.au.com>

イヤホンを使用する

- microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)でイヤホン(市販品)を使用する

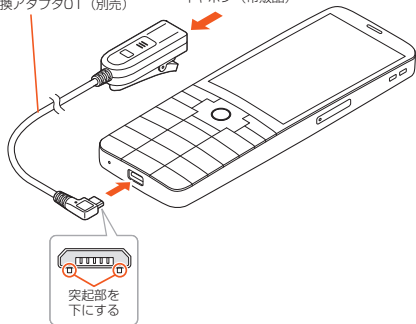
イヤホン(別売)はmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)と接続して使用します。

- 1 microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)にイヤホン(市販品)を接続する
- 2 本製品にmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)を接続する

microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)のコネクタを、先端の形状を確認してまっすぐになるように差し込みます。

microUSBステレオイヤホン
変換アダプタ01 (別売)

イヤホン (市販品)



memo

◎ イヤホン (市販品) によっては、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01 (別売) に接続できない場合があります。

■ microUSBモノラルイヤホン01 (別売) を使用する

microUSBモノラルイヤホン01 (別売) は本体と直接接続して使用します。

1 本製品にmicroUSBモノラルイヤホン01 (別売) を接続する

microUSBモノラルイヤホン01 (別売) のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込みます。

memo

◎ microUSBモノラルイヤホン01 (別売) のお問い合わせ方法については、auホームページ (<https://www.au.com/>) をご確認ください。

電話を受ける

1 着信中にmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)／microUSBモノラルイヤホン01(別売)のスイッチを押す

- 着信中にmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)／microUSBモノラルイヤホン01(別売)のスイッチを1秒以上長押しすると、着信拒否します。
- 通話中にmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)／microUSBモノラルイヤホン01(別売)のスイッチを押すとミュートのON/OFFを切り替えることができます。

2 通話を終了するとき、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01(別売)／microUSBモノラルイヤホン01(別売)のスイッチを1秒以上長く押す

主な仕様

■本体

ディスプレイ	約3.1インチ、約1,677万色、TFT透過型	
	800×480ドット(WVGA)	
質量	約114g	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約48×138×14.0mm	
内蔵メモリ容量※1		ROM:約8GB RAM:約1GB
連続通話時間	国内	約600分
	海外(GSM)	約370分
連続待受時間	国内	約530時間
	海外(GSM)	約570時間
連続テザリング時間	約430分(WAN側LTE)※2	
Wi-Fiテザリング最大接続数	10台	

充電時間 (目安)	共通ACアダプタ05 (別売)	約120分 ^{※3}
カメラ有効画素数		約800万画素
カメラ撮影素子		CMOS
無線LAN(Wi-Fi [®])機能		IEEE802.11b/g/n準拠
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン	Bluetooth [®] 標準規格 Ver.4.1準拠 ^{※4}
	出力	Class1
	通信距離 ^{※5}	10m
	対応プロファイル・機能 ^{※6}	GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book

Bluetooth [®] 機能	対応プロファイル・機能 ^{※6}	Access Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking- Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking- User) DUN(Dial-Up Networking Profile) ^{※7}
	使用周波数帯	2.4GHz帯

- ※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
- ※2 WAN側LTEとWi-Fi子機は1台での測定です。Wi-Fiは802.11nです。(下りTCP 1.2Mbpsのデータ転送相当で測定)
- ※3 卓上ホルダに接続して使用したときは充電時間が長くなる場合があります。
- ※4 本製品およびすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができなかったりする場合があります。
- ※5 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- ※6 Bluetooth[®]機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。

※7一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。
ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

■卓上ホルダ(KYX31PUA)

入力	DC5.0V、1.8A
出力	DC5.0V、1.8A
質量	約85g
サイズ (幅×高さ×奥行き)	約72×113×97mm



memo

◎連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYX31の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

本製品の比吸収率(SAR)については、auホームページ掲載の『取扱説明書 詳細版』をご覧ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、auホームページをご覧ください。

<https://www.au.com/>

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.



FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows®7／Windows®8.1／Windows®10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

「Siri」は、Apple Inc.の商標です。

「Googleアシスタント」は、Google LLCの商標または登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

LINEは、LINE株式会社の商標または登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。

iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
2009-2018 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4

VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

- (1) ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
- (2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの登録商標です。

画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。

HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

ハローページはNTTの登録商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。

- (a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- (b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。

(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。

なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPL およびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。

本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。

本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発した

ソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ(お客様によるアプリの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリの使用に関する詳細情報(特定の機能、使用頻度、メモリ/電池の使用状況))を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話からは

☎0077-7-111

au電話からは

局番なしの157番

Pressing "zero" will connect you to an operator,
after calling "157" on your au cellphone.

上記の番号をご利用にならない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

☎0120-977-033 (沖縄を除く地域)

☎0120-977-699 (沖縄)

紛失・盗難時の回線停止のお手続き について (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

一般電話からは

☎0077-7-113

au電話からは

局番なしの113番

上記の番号をご利用にならない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

☎0120-925-314

故障紛失サポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話/au電話から

☎0120-925-919



濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



衝撃や過度な外圧を加えると、電池
の破損・変形等により発煙・発火等
の原因となり大変危険です。



Eモバイルリサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を
再利用するためにお客様が不要となっておりますお持ちになる
電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず
マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2018年9月第1版

発売元: KDDI (株)・沖縄セルラー電話 (株)

製造元: 京セラ株式会社

5KKTJA28RAXX-0918SZ



管理用コード

■LINEアプリのプッシュ通知機能停止のお知らせ

LINE社におきまして、当機種のLINEアプリサービスのプッシュ通知機能を2020年3月31日以降に停止されます。

プッシュ通知機能の停止後は、LINEアプリを起動していない間に受け取ったメッセージの通知、および無料通話の着信通知が受け取れなくなります。アプリを起動すると、メッセージ受信や着信履歴を確認できます。

以上

2020年2月28日